

令和4年度 政策評価に関する意見募集 集計結果

令和5年3月 北海道総合政策部計画局計画推進課

I 調査の概要について

1 調査の目的

道民の皆様から政策評価に関する意見を募集し、今後の政策評価制度に適切に反映させることを目的として実施しました。

2 調査の方法等

調査期間	令和5年1月13日(金)～令和5年2月20日(月)
調査方法	①インターネット調査 ※意見募集ページの閲覧件数 9,499件 ②本庁舎1階ロビー、行政情報センター(道庁別館)、行政情報コーナー(各振興局)でのアンケート用紙の配置
有効回答人数	2人

II 調査の結果について

1 政策評価結果の活用・公表について

Q1 「政策評価の結果」及び「評価調書」の内容をご覧になったことがありますか。

区分	見たことがある	見たことがない	無回答	計
回答数(人)	1	1	0	2
構成比(%)	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%

Q2 政策評価の活用として、どの項目に期待をしますか。(複数選択可能)

区分	政策(総合計画)の推進	予算の編成・執行への反映	組織・機構の整備への反映	わからない	その他	無回答	計(のべ数)
回答数(人)	1	2	1	0	0	0	4
構成比(%)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q3 政策評価結果の公表は、道HPへの掲載、行政情報センター(道庁別館)及び各(総合)振興局の行政情報コーナーへ配置していますが、公表の手段として適切だと思いますか。

区分	今のままで良い	改善した方が良い	無回答	計
回答数(人)	1	1	0	2
構成比(%)	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%

理由	対応状況
・道庁や空知総合振興局に配置していてもわざわざ行く人がいるのか。見に行った人の数を考えて対応すべきだ。多分インターネットが普及する前の感覚でやっているのではないか。	・公表手法については、政策評価基本方針「9 政策評価に関する情報の公表に関する事項」において、「公表に当たっては、道民にとって分かりやすい内容、容易に入手できる方法に努めるもの」としており、行政情報センター等への配置のほか、ホームページへの掲載により公表を行っています。いただいたご意見を踏まえ、今後とも、より多くの道民の皆様にご周知が図られるよう、改善に取り組んでまいります。

2 基本評価（施策評価、事務事業評価）について

Q4 基本評価調書の様式は分かりやすいと思いますか。

区分	分かりやすい	分かりづらい	無回答	計
回答数(人)	0	2	0	2
構成比(%)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%



理由	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・行政文書そのもので、公表している目的は住民に向けてのものとなっていない。 ・もう少し要領よく、専門的な用語が多すぎる。道民に見せるということであればそれを意識すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調書の様式・記載については、読みやすく、分かりやすい表現となるよう工夫するなど、今後とも、見直しを進めてまいります。

Q5 基本評価に関してその他ご意見・ご提案がありましたらご記入ください。

意見の概要	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで出来ない施策も多くあったかと思うが、コロナを理由にやっていない事業もある。すべての事業を俯瞰した目で見ないと本質がわからないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響などの社会経済情勢の変化については、施策の「緊急性・優先性」をはじめとする視点により評価を実施しているところです。 ・いただいたご意見を踏まえ、今後とも、社会経済情勢等を踏まえた評価を行ってまいります。

3 特定課題評価について

Q6 特定課題評価における政策（政策の柱）評価調書の様式は分かりやすいと思いますか。

区分	分かりやすい	分かりづらい	無回答	計
回答数(人)	1	1	0	2
構成比(%)	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%



理由	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的内容がわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・調書の様式・記載については、読みやすく、分かりやすい表現となるよう工夫するなど、今後とも、見直しを進めてまいります。

Q7 特定課題評価における政策（政策の柱）の評価は、政策評価と総合計画との関係性をより明確にするとともに、総合計画の推進状況をより明確に表すことを目的としていますが、そのようになったと思われませんか。

区分	明確になったと思う	思わない	わからない	無回答	計
回答数(人)	0	2	0	0	2
構成比(%)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%



理由	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・選ばれた7つの政策と選ばれなかった14の政策の区別の意味が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定課題評価で実施している政策の柱の評価については、毎年度7項目ずつ、3カ年で21の全ての政策の柱を評価することとしております。 ・また、対象とする7項目については、毎年度、政策評価委員会（基本評価等専門委員会）の審議を経て、実施方針において定めることとしております。

Q8 特定課題評価に関してその他ご意見・ご提案がありましたらご記入ください。

意見の概要	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・本来の無駄の排除とはいいがたい状況 ・ただ単に楽をしているようにしか見えない。高いお金を払って委員に就任させているのだからしっかりと議論してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の特定課題評価は、総合計画に掲げる政策の推進をテーマに、政策評価委員会（基本評価等専門委員会）によるヒアリングや審議を行ったところです。 ・いただいたご意見を踏まえ、今後とも政策評価委員会の知見の活用に努め、政策評価を通じた効果的な政策の推進に努めてまいります。

4 公共事業評価について

Q9 公共事業評価の調書の様式は分かりやすいと思いますか。

区分	分かりやすい	分かりづらい	無回答	計
回答数(人)	2	0	0	2
構成比(%)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%



理由	対応状況
-	-

Q10 公共事業評価に関してその他ご意見・ご提案がありましたらご記入ください。

意見の概要	対応状況
-	-

5 その他

Q11 その他、政策評価の結果や評価制度に関してご意見・ご提案がありましたらご記入ください。

意見の概要	対応状況
<p>・政策評価自体が目的化しているのではないか。政策評価そのものを政策評価して道民に分かりやすい制度にすべきだと思う。単にルーチンワークをこなしているだけにしか見えない。</p>	<p>・政策評価は北海道政策評価条例に基づき、「政策の合理的な選択と質の向上」「限りある財源、人員等の効果的配分」「行政の透明性の確保と説明責任の遂行」を目的に毎年度実施しております。 道としては、政策評価委員会による審議やいただいたご意見も踏まえ、今後とも、政策評価制度の質の向上に取り組むとともに、政策評価を通じた効果的な政策の推進に努めてまいります。</p>
<p>・コロナで進捗が遅れている事業も多くあったが、それを理由にやっていない事業も散見されている。審議委員や道庁の担当者はその点を意識して評価すべきではないか。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響といった社会経済情勢の変化については、施策の「緊急性・優先性」をはじめとする視点により評価を実施しているところです。 いただいたご意見を踏まえ、今後とも、社会経済情勢等を踏まえた評価を行ってまいります。</p>
<p>・また道民に対し単に意見を聞くわけではなく道民を参加させて評価すべきではないか。ほかの自治体の先進的な取り組みを調査しより良い制度にすべきではないか。</p>	<p>・政策評価における道民参加の推進は重要であることから、政策評価委員会委員の選任に当たっては、道民参加をより一層進める観点から、委員の一部を公募により選定することとしております。 また、毎年度、政策評価に関する意見募集を実施するなど、道民が意見を述べる機会を確保するよう努めています。 いただいたご意見を踏まえ、今後とも、道民参加の推進が一層図られるよう努めてまいります。</p>